

令和2年度 建設系学生へのリモート講義 開催報告

事務局常任幹事 庄司 大介

1. 日程：

令和2年12月16日(水)[第1回]

令和2年12月23日(水)[第2回]

2. 時間：

17:15～18:50(5時限目)

3. 場所：

東海大学湘南キャンパス

19号館542号(土木工学科第2実験室)

4. 参加者：

- ・東海大学教員:梶田教授, 三神教授
- ・東海大学学生:74名[第1回], 80名[第2回]
- ・望星技術士会:齋藤氏, 森氏, 庄司
今村氏, 永井氏[第1回のみ]
太田氏, 山西氏[第2回のみ]

5. 概要

本学学生に、技術士資格の有用性を知ってもらい、より多くの学生に技術士補、将来的には技術士を目指して貰うことを目的として、学生への講義を行うことを大学側に提案した。そうしたところ、土木工学科の梶田教授より、土木工学科の2年生を対象として、2日間に分けて各コマ、合計2コマ「土木基礎ゼミナール入門ゼミナール2」の講義を行うことの了解を頂き、実施に至ったものである。

6. 第1回講義(12月16日)

リモート講義当日、出席する望星技術士会のメンバーで東海大学前駅に集合し、学生時代を懐かしみながら夕暮れに染まる大学へと歩を進める。出席者の平均年齢が高いこともあり、道中の心臓破りの坂に建設されたエスカレーターにも感嘆するとともに、店舗の移り変わりが多いことにも時代の経過を感じた。湘南キャンパスに到着するも、新型コロナの影響で大学は基本的にオンライン授業がメインであり、学生の多くは学校に来れない状況であり、我々も入口での検温・記名などを行う必要があった。学内でも、以前に来たときのような賑わいがなく、かなり閑散とした感じであった。

土木工学科が入る19号館に到着し、土木工学科の梶田教授に挨拶を済ませ、リモート講義する場所である、542号室(土木工学科第2実験室)に入る。



【写真1. 東海大学駅前】



【写真2. 湘南校舎噴水池・1号館を望む】



【写真3. 湘南校舎19号館】

部屋には、リモート講義用のPCおよびスクリーンモニターが用意されていた。そこに講義担当者が事前作成した講義用パワーポイントデータを取り込み、準備完了。そして、講義開始時間の17:15になり、講義開始となった。第1回講義の順序及び概要は以下の通り。

【17:15～17:20】

梶田先生より「講義の趣旨」の説明および三神先生より「講義受講時の留意事項」の説明。

【17:20～17:30】

望星技術士会齋藤氏より、「望星技術士会および今回の講義概要について」説明。

【17:30～17:55】

同会今村氏より、「ゼネコン業界での必要資格および実際に体験した業務(老朽化護岸の環境共生護岸への造り替え等)」の説明。

【17:55～18:20】

同会庄司氏より、「建設コンサルタント業界の状況・必要資格および実際に体験した業務(東日本大震災で被災した河川構造物の災害復旧関連業務等)」の説明。

【18:20～18:45】

同会永井氏より、「建設業(建築系)の仕事内容・施工管理・建築生産体制および建築と設備等」の説明。

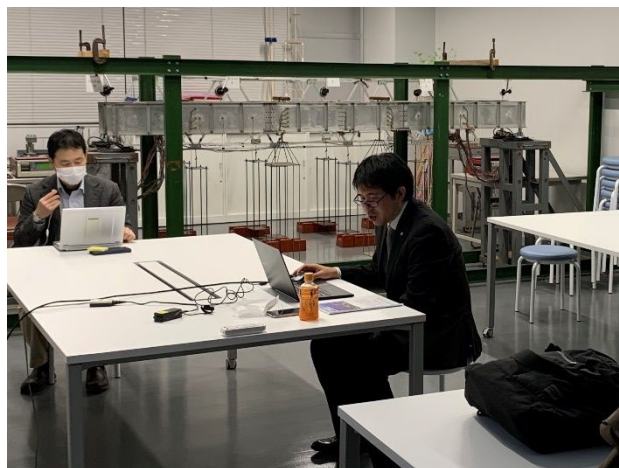
【18:45～18:55】

質疑応答

※授業終了後、講義を聴講した学生が出欠確認と合わせて、追加質疑事項を提出した。



【写真 4. 今村氏の講義風景】



【写真 5. 庄司の講義風景】



【写真 6. 永井氏の講義風景】

7. 第2回講義(12月23日)

講義まで準備、および講義の流れは第1回で要領を得たこともあり、滞りなく進んだ。なお、講義時は第1回目と同様であるが、学生側の画像是データ容量の関係から切った設定としており、こちら側からは学生の表情を伺うことは出来ない状態での講義進行となった。第2回講義の順序及び概要は以下の通り。

【17:15～17:20】

梶田先生より「講義の趣旨」の説明および三神先生より「講義受講時の留意事項」の説明。

【17:20～17:30】

望星技術士会齋藤氏より、「第1回講義時の質疑事項に対する回答」の説明。

【17:30～18:10】

同会太田氏より、「技術士制度及び一次試験受験に向けて(資格取得のメリット、技術士制度、技術士試験等)」の説明。

【18:10～18:45】

同会山西氏より、「技術士第一次試験体験記（受験の動機、受験による効果、勉強方法等）」の説明。

【18:45～18:55】

質疑応答



【写真7. 太田氏の講義風景】



【写真8. 山西氏の講義風景】

8. 講義に対する学生からのコメント

講義に対する学生からのコメント(感想・質問・意見)を表にまとめた。

第1回講義内容は、主に各業界の紹介や技術士の活用についてであったことから、技術士に関する内容はもとより「仕事内容が分かった」、「就職先を決めることに役立った」などのコメントが多く見られた。

一方、第2回講義は技術士受験内容や技術士補の合格体験といった内容であり、「勉強方法・参考書が分かった」、「参考になった」という受験に直結したコメントが多かった。

【表1. 学生からのコメントまとめ】

第1回講義(12/16)	
コメント数	コメント(感想・質問・意見)
17	技術士補を受験しようと思った
14	その他感想・質問
13	技術士の資格の重要性が分かった
10	各分野の仕事内容が分かった
8	就職先を決めるのに役に立った
7	講義ありがとうございました
7	参考になった・ためになった
5	技術士補の勉強方法・参考書を教えてほしい
第2回講義(12/23)	
コメント数	コメント(感想・質問・意見)
29	勉強方法・参考書が分かった
19	参考になった・ためになった
15	技術士の資格の重要性が分かった
14	技術士補を受験しようと思った
12	その他感想・質問
7	講義ありがとうございました

※1名で複数のコメントを記載する人もいたため、出席者とは合わない。

9. まとめ・感想

今回、望星技術士会として、初めて学生への技術士資格についての講義を行うこととなった。しかし、リモートでの実施であることから、学生の顔も写らない画面に向かって説明を行う形であり、学生の感触が得られず、やりやすい環境とは言えない状態であった。

それでも、学生からのコメントを後から確認すると、かなり有意義な講義であったことが窺えたことから、講師の一人でもある筆者も胸をなで下ろしている。

今後とも、このような活動を継続し、学生への技術士への認知を深め、技術士補の受験を促すとともに、将来的に技術士を目指すことに少しでも繋がれば幸いである。

最後に、今回の講義に際しご理解及びご協力を頂いた、土木工学科の梶田教授、三神教授に、心より感謝申し上げます、報告とします。

以上